

**<三重県> (種別：学校) 四日市市立三重平中学校****取組概要**

当該校は、全校生徒230名。1学年3学級、2学年2学級、3学年2学級、特別支援学級1学級からなる比較的小規模校。

**1. 地域を学ぶ学習プログラム「四日市学」の実施**

令和5年度から、四日市市内唯一の取組として、校区・地元から四日市市へと段階的に範囲を広げて、地域の社会的課題に対して考えを深めていく学習プログラム「四日市学」を、特別活動において全学年で実施している。1年生では、地域の人と防災について学ぶ学習や、地域の商店をPRするチラシを作成する学習を通じて、地域の魅力を知る機会を創出している。2年生では、職場体験に向けて、事前学習で職場を調べ、自己を見つめ直す学習を行うとともに、事後学習では、発表会を通じて、体験で学んだことの振り返りを行っている。3年生では、生徒が四日市市に対し、地元地域や四日市市よりよい未来を築くための政策を提案している。

また、「四日市学」の中では、「四日市PR活動」として、市役所の担当課職員からふるさと納税の活用方法について学ぶとともに、PR活動の一環として、修学旅行の機会を活用し、旅行先にて、プレゼンテーション形式での四日市市の魅力紹介やふるさと納税への寄付の呼び掛け等を行っている。(令和6年度は、千葉県イオン海浜幕張店にて実施)

**2. コミュニケーションスキルを学ぶ「平っ子タイム」の実施**

「四日市学」による学びを進めていくうえで必要であると考えられる生徒の心の土壌づくりや生徒の自尊感情を高めるための人間関係づくりの一助として、「かかわりプログラムSimple」代表の曾山和彦氏の指導を受け、コミュニケーションスキルを学ぶ「平っ子タイム(だいらっこたいむ)」を実施している。

また、「平っ子タイム」は、本年度で10年目を迎え、生徒は、ここで学んだコミュニケーションスキルを様々な場面で活用し、日々の学習に取り組んでいる。生徒へのアンケートからも、「話すこと」に関する設問において、9割の生徒が肯定的な回答をしており、生徒自身がその効果を実感している取組となっている。

**3. 中学校区での異校種連携**

定期的に、当該中学校区内のこども園、小学校、中学校(3校1園)の教職員が集まり、「学び合う子どもの姿をめざして～夢、志でつながる 園小中～」というテーマのもと、地域の教育課題の解決に向けた取組や方策について協議する会議や研修会を行っている。

【ホームページ】 <http://www.yokkaichi.ed.jp/~miedaira/cms2/htdocs/>